大芦小学校の統合に関する説明会

令和8年10月4日（日） 9時～11時15分
大芦小学校　体育館

【参加者数】
34名
※在校生保護者：10名（うち未就学児保護者を兼ねる方：4名）
　地域の方：24名

【出席者】
（教育部）鳥沢部長・松本副部長
（教育総務課）飯島課長・根井副課長・堀主任
（学務課）棚澤副部長兼学務課長・小板谷主任

【事務局説明】
・市教育委員会では、令和4年度に鴻巣市立小・中学校適正配置等審議会から受けた答申を踏まえ、大芦小学校と吹上小学校の統合に向けた検討を進めてきたことを説明した。また、当初は令和6年度から令和9年度を統合予定年度としていたが、統合に向けた準備期間を十分に確保する必要があることなどから、令和10年度の統合を目途として検討を継続してきたことを説明した。
・大芦小学校の児童数は今後も減少していくことが見込まれており、令和10年度には児童数が65人となる見込みであること、また、2年生と3年生の児童数の合計が16人以下となる見込みであることから、複式学級が編制される可能性があることを説明した。
・複式学級については、異なる学年の児童が同じ教室で学ぶ学級編制であり、教員が複数の学年を担当するため、通常の単式学級とは異なる授業運営となることを説明した。また、学級数の減少に伴い教職員数も減少することから、学校運営上の負担が大きくなることについても説明した。
・そのうえで、教育委員会としては、子どもたちにとって望ましい教育環境を確保するためには、一定規模の集団の中で、多様な考え方に触れながら学ぶ機会や人間関係を形成する機会を確保することが重要であると考えており、複式学級が見込まれる令和10年度までを目途として、大芦小学校と吹上小学校の統合に向けた取組を進めていきたいとの考えを示した。
・今後のスケジュールとして、令和8年12月定例市議会において、大芦小学校の閉校に伴う「鴻巣市立学校設置及び管理条例」の一部改正案を提案することを想定していることを説明した。あわせて、議会の議決を得た場合には、通学区域審議会へ通学区域の見直しについて諮問を行うこと、その後、在校生保護者及び未就学児保護者を対象とした説明会や児童向け説明を実施する予定であることを説明した。
・さらに、令和9年度には統合準備委員会を設置し、児童の交流事業、通学路の安全対策、通学体制、PTA 活動、閉校記念事業及び跡地活用などについて検討を進めていく予定であることを説明した。
・教育委員会は、子どもたちにとって望ましい教育環境の整備を第一に考えながら、保護者や地域の意見を伺い、不安の軽減に努めつつ、統合に向けた取組を進めていきたいと考えていることを説明した。

【主な意見とその回答】
〇（地域の方）
・学校統合の検討は財政面ではなく教育環境の観点から進めているという理解でよいか。
⇒教育委員会では、児童数の減少により教育活動に制約が生じることを課題と捉えており、子どもたちの教育環境の確保を目的として検討を進めている。

〇（地域の方）
・現在は、計画の段階であり、何一つ決定していないという認識でよいか。
⇒現時点で決定しているわけではなく、12月議会に条例改正案を提案し、議決をいただいた場合に正式決定となる。
・令和 10 年度の統合は時期尚早ではないか。統合後の吹上小学校は 19 学級となり、適正規模を超える見込みである。また、これまでのアンケートや署名活動でも反対意見が多く寄せられていることから、まずは十分な協議を行うべきではないか。
⇒大芦小学校では複式学級の編制が見込まれており、教育環境の観点から統合が必要であると考えている。また、反対意見の背景にある不安については引き続き把握し、その解消に向けた取組を進めていく。

〇（地域の方）
・文部科学省の研究では少人数学級の効果が示されている。児童や保護者からも学校を残してほしいとの声が多い中で、なぜ統合を進めるのか。また、山梨県では25人学級を実施している。予算をかけてでも教育環境を維持するべきではないか。
⇒教育委員会としても少人数教育の良さは認識している。一方で、多様な考え方に触れる機会や学習活動の選択肢の確保などの観点から、一定規模の集団の中で学べる教育環境も重要であると考えている。なお、統合後の学級については、1学級35人になるわけではなく、令和10年度時点では概ね28人程度になる見込みである。また、教育予算については、鴻巣市は比較的多い方であると認識しているが、市全体の予算との調整も必要となるため、引き続き必要な予算の確保に努めていく。
・子どもたちの意見をどのように受け止めているのか。また、約 1 年間の統合準備期間で不安解消は可能なのか。
⇒子どもたちが現在の学校を残してほしいと思うことは自然なことであり、その思いは十分理解している。過去の統合事例でも同程度の準備期間を設けており、交流事業や説明会などを通じて不安軽減に取り組んでいる。

〇（在校生保護者）
・どのような意見を重要視しているのか。地域の意見なのか。
⇒皆さんの意見を大切に捉えているが、教育委員会として、教育環境の確保を第一に考え取り組んでいきたい。
・12月議会で決定して、その後1年間で統合に向かうのか。1年間で不安は解消できるのか。またこども基本法に反するのではないか。

⇒12月議会で決定した場合、令和10年度の統合に向けて取組を進めていくという認識で間違いない。
　過去の学校統合でも同様の準備期間を設けている。統合後の児童や保護者へのアンケートでは、新しい友達ができた、学校生活が楽しいといった意見も確認されていることから、期間が短いとは考えていない。
・学校の統合が決定してから子どもの気持ちを確認するのでは遅い。逆だと思う。

〇（地域の方）
・吹上地域全体の通学区域を見直してほしい。
⇒通学区域の見直しについてはこれまでも検討されてきた。しかし、一時的に児童数を維持することができたとしても、今後の児童数減少を考えると、将来的に再度統合を検討する必要が生じる可能性があることから、教育委員会としては吹上小学校との統合が望ましいと判断している。

〇（地域の方）
・不安の解消とあるが、不安というよりは不信。反対に対する明確な回答がない。通学区域そのものを変更して、大芦小学校の児童数を増やそうとするのが普通の考えではないか。
⇒過去には、通学区域変更に関する議論も行われたが、将来的な児童数減少を踏まえ、平成27年策定の鴻巣市立小・中学校適正規模・適正配置に関する考え方において、大芦小学校と吹上小学校の統合を示し、取組を進めてきている。

〇（地域の方）
・令和4年度に学校統合の方針が示されて以降、教育委員会に対して数多くの要望や提案を行ってきた。しかし、学校統合後の大芦地域や吹上地域の将来について十分に議論されてきたとは感じておらず、不信感を抱いている。教育委員会の職員は異動するかもしれないが、地域住民はこの地域で暮らし続けていく。大芦地域の将来を見据え、12月議会までに改めて、地域の将来も見据えて検討してほしい。このままでは、大芦地域は先細りしていく。
⇒学校の跡地についても、皆さんの意見をいただきながら検討していく。

〇（在校生保護者）
・前回の説明会（6/25開催）で出された意見や要望について、その後どのような対応を行ったのか。
⇒前回の意見交換会の内容については議事録を作成し、E メッセージで周知している。また、和式トイレについては洋式化に向けて予算要求を行っている。
・不登校になってしまった児童に対する支援は。
⇒不登校には、様々な要因があることから、一人一人の状況を把握しながら、学校、教育支援センター等が連携して対応していく。

〇（在校生保護者）
・保護者間で様々な情報が飛び交っており、何が事実なのか分かりにくい状況になっている。保護者向けの情報提供を充実してほしい。

⇒教育委員会としても情報提供は重要と考えている。保護者向けに丁寧な情報提供を行っていきたい。

〇（在校生保護者）
・児童数の減少や複式学級の編制が見込まれる状況を踏まえると、統合はやむを得ないと考えている。現在1学年6人の学年もあり、人間関係が固定化しやすい状況も見られる。統合により、より多くの児童と関わる機会を持たせたい。また、児童数が少ないと趣味が合う子も見つけられない。
　子どものケアは丁寧に行ってほしいが、統合は進めてもらいたい。
　統合後も大芦地域から子どもがいなくなるわけではないので、地域と子どもたちの交流というのは計画していくことはできるのではないか。
⇒令和8年度も吹上小学校との交流事業を予定しており、新しい学校生活に円滑に移行できるよう準備を進めている。また、常光小学校では、統合後も地域行事を通じた交流が継続されている事例がある。

〇（在校生保護者）
・5年間説明会に参加してきたが、保護者の不安解消に向けた説明が十分とは言えない。吹上小学校の見学機会や施設状況の説明など、保護者が具体的にイメージできる機会を設けるべきではないか。
　また、統合後に吹上小学校を受け入れる側の保護者への説明はどのように行うのか。受入側にも不安を抱いている保護者がいると思う。
⇒正式決定後、吹上小学校の保護者に対しても必要な情報提供を行っていく。具体的な方法等については今後検討していく。

〇（在校生保護者）
・今回の説明会や保護者意見を踏まえて、令和10年度統合という方針が変更される可能性はあるのか。
⇒本日の意見について市長部局とも共有した上で検討の材料とさせていただくが、現時点では令和10年度の統合に向けて取り組みを進めていきたいと考えている。
・令和10年度に統合となった場合、6年生の1年間だけ吹上小学校で過ごす児童もいる。教職員の配置について配慮はあるのか。
⇒教職員については、埼玉県の職員となるため、大芦小学校の教職員を吹上小学校に配置させることを確約できるものではないが、必要な配慮については県へ要望していく。過去の統合事例でも、統合前の学校から数名の教職員が統合後の学校に配置されている。

（在校生保護者）
・在校生保護者と地域住民では関心事が大きく異なる。説明会や会議録についても対象を分けて実施した方がよいのではないか。
・統合が決定しているのであれば、保護者向けに今後の流れや準備について説明してほしい。体操着や持ち物、通学方法など具体的な情報が分からず不安である。
⇒統合の正式な決定は議会での決定をへてからになるので、現時点で決定とは言えない。
　体操着等については、教育委員会において必要な対応を行う予定であり、保護者の負担が生じないよう検討している。

　また、通学方法についてはスクールバスの運行はなく、全員が徒歩で通学いただく予定。
・これまで統合の説明を受けてきたが、現時点でも保護者に十分な情報が伝わっていないと感じる。過去の経緯や統合後の見通しなどを整理して、分かりやすく示してほしい。
⇒これまでの説明会資料や議事録は公開しているが、改めて保護者への情報提供のあり方について検討していく。

〇（地域の方）
・これまで教育委員会は子どもたちのためとして取組を進めてきたとのことだが、保護者の不安を抱えたまま話が進んでいるように感じる。また、北新宿地区や小谷小学校の事例を見ても、閉校が前提となって進められているように見える。吹上小学校は児童数が多く、施設面での課題もあることから、大芦小学校を活用する考え方や段階的な統合についても検討できないのか。
⇒教育委員会では、市内で最も新しい校舎であり、今後も長期間活用できることなどを踏まえ、吹上小学校を存続校として検討を進めている。また、段階的な統合を行った場合には、その都度統合に伴う負担が生じることから、吹上小学校への統合が望ましいと考えている。

〇（地域の方）
・地域の人たちの意見を聞いていないのではないか。説明に出向いて、地域の方に納得いただいて、この地域をどうしていくのかをセットで考えて、皆が納得した上で進めていくべきではないか。
⇒過去にも何度かこのような場を設けている。跡地のあり方については、皆さんから御意見をいただきながら検討させていただく。

〇（在校生保護者）
・最初に統合の計画を聞いたときは絶対に反対であったが、現在は、一桁になっている学級もあり、統合もやむを得ないという気持ちもある。
　一方で、少人数校には、一人一人が役割を持ちやすいなどの良さもある。運動会などでも児童やPTA役員以外の保護者も主体的に片付け等に関わっており、そのような環境が失われることに寂しさを感じるし、小規模校が市内に1校あってもよいのではないかと思う。
　ただ、校舎内の清掃を含め、管理が行き届かない面も出てくるのではないかと考えると、自分の中で揺れている部分がある。
　また、閉校後の学校施設がどのように活用されるのか見えないことも不安である。具体的な案も定まっていないのかもしれないが、このように活用する考えがあるというに示してもらえれば、不安は少しでも軽減されるのではないか。
⇒少人数校の良さについては教育委員会としても認識している。一方で、教育委員会としては、公教育として将来にわたり一定の教育環境を確保する観点から統合を進めたいと考えている。
　跡地については、現時点で具体的な活用方法は決定していないが、避難所について直ちに廃止されるものではない。また、体育館や校庭等についても、地域活動の継続利用を含めて検討していく。

〇（在校生保護者）
・大芦小学校を残したいという、地域の熱い気持ちがある中で、学校の統合が進んでしまうと、統合後に地域の方が協力してくれなくなるのではないかと不安に感じる。これまでやってきてくれたことが0になるというのはすごく寂しい。地域の方に丁寧に説明し、吹上小学校との統合後も協力してほしいというようにお話いただきたい。

〇（在校生保護者）
・統合が決定した場合には、保護者の不安に寄り添いながら丁寧に対応してほしい。 ・これまでの5年間の経緯を Q&A 形式などで整理し、分かりやすく示してほしい。 ・吹上小学校の教室やトイレ等の環境について不安を感じる保護者もいるため、見学会や説明会を実施してほしい。 ・通学路の安全対策についても確実に取り組むとともに、大芦小学校の良さを統合後も引き継いでほしい。

〇（地域の方）
・統合に関わらず、通学路の予算は確保してもらいたい。吹上小学校につくられたカーブミラーはくもっていて見ることができない。
・保護者の不安解消に向けた取組について、文書等で分かりやすく示してほしい。また、Q&A を作成してほしい。

〇（地域の方）
・吹上小学校はすでに児童数がいっぱいではないか。その中で、大芦小学校の児童まで受け入れるというのは、吹上小学校の児童や保護者も思うところがあるのではないか。速やかに意見等を確認してもらいたい。

〇（地域の方）
・16 人以下になると、自動的に複式学級になってしまうのか。
⇒複式学級となった場合、配置される教員が1名減るので、複式学級になることが想定される。
・複式学級の解消のため、市独自に教員を配置することはできないのか。
⇒市独自で教員を配置することは制度上可能ではあるが、人材の確保など様々な課題がある。

〇（在校生保護者）
・在校生保護者に対する QA は作成いただけるのか。
⇒在校生保護者向けの Q&A については作成する。
・吹上小学校の保護者や児童の意向調査を行う考えはあるのか。
⇒吹上小学校の校長と相談する。